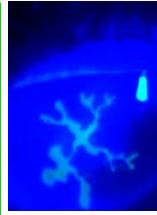




フジタガンカニュース

Vol.114 2020.3.23



色覚検査と色覚異常について⑥

連日、新型コロナウイルス肺炎の報道ばかりで気が滅入る今日この頃です。先月のフジタガンカニュースの原稿を用意していた以降、学校の休校要請などもあり自粛ムードとなり、皆さんの生活にも色々な影響が出ていますね。とりあえずの対策として有効なのは直接感染を避ける為の「手洗い」です、気を付けて生活したいものですね。

また、そんな中でも花粉はしっかり飛散しているようです。当院のホームページではブログのコーナーで情報を発信しております。ご興味のある方はそちらも参考にして頂けたらと思います m(__)m。

ではここからは日本眼科医会のホームページに掲載されている「色覚異常を理解するために」という文章を掲載したいと思います。

https://www.gankaikai.or.jp/colorvision/post_9.html



冊子「色覚異常を正しく理解するために」

2019年03月15日 学校保健

本会では色覚についての理解を深めるために学校現場にとどまらず社会に向けて、その啓発に努めております。色覚についてやさしく解説した標記冊子の内容を以下からご確認いただけますので、是非ご覧ください。



色覚異常を正しく理解するために

監修:東京慈恵会医科大学名誉教授 北原 健二

平成20年4月発行

製作・発行 公益社団法人 日本眼科医会

イラスト 藤本知佳子

質問項目

- ・ 色の見え方には個人差があるのですか?
- ・ 「色覚異常」とは「色盲」のことですか?
- ・ 先天赤緑色覚異常では色はどのように見えるのですか。
- ・ 色覚異常は治るのですか?
- ・ こどもが色覚異常と知り、驚いています。どう接してやれば良いのでしょうか?
- ・ 日常生活で注意することを教えてください。
- ・ 先天赤緑色覚異常の人はどの位の割合でいるのですか?
- ・ 色覚の異常があるばあいでも、運転免許は取得できないのですか?
- ・ 進学や職業選択で注意することを教えてください。
- ・ おわりに



今月のフジタガンカニュースはここまで、続きの引用は次回掲載致します。今回からはこの「色覚異常を正しく理解するために」という冊子の内容を転載させて頂きますが、上の「質問項目」という記載がいわゆる「目次」に該当します。そのつもりで目を通して頂けたらと思います、よろしくお願い致します。

昨今の新型コロナウイルス(コビット 19)による肺炎の影響は、貿易や経済、そのほか健康に関する事のみならず実生活での多方面に渡っています。皆さんご苦労が多いとは思いますが、先に感染を発生した中国では新規に感染する患者数が減少傾向にあるようです。早期の鎮静化を期待しましょう。

今月のお知らせ

最近、新型肺炎の感染予防目的でマスクを着用した状態で眼科を受診される患者さんが多くみられます。花粉症の症状軽減にも役立つため双方の理由なのかとも思いますが、皆さんマナーを重んじられる為か眼科診察時にマスクを外される方が多いようです。しかしそうするとマスク本来の「感染の拡大を予防する」目的が失われてしまうのです。基本的な眼科の診察にマスク着用は支障ありません。必要な場合はコチラから外すようお願いをしますので、**眼科診察時には「原則マスクを外さない」**ようお願い致します。



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC
藤田眼科
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)
F-Vision

📞 **042**
(645)
0575
📞 **042**
(642)
2911